

夏秋ナス管理情報（定植～初期生育） No.2

令和8年4月

京築普及指導センター・JA福岡京築

高収量をとるためのポイント

- ・早期活着のために、定植後1週間程は手かん水をしましょう。
- ・病害虫の予防防除（かん注剤の施用）を必ず行いましょう。
- ・ナスの生育に合わせて遅れないように本支柱を設置しましょう。

目指せ 反収 10t!
売り上げ 300万!

1. 今後の流れ（目安）

時期	定植前	4月下旬	定植当日	定植1～3日後	順次
作業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防風ネット設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の受け取り ・殺虫剤の苗かん注 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナス定植 ・仮支柱設置・かん水 ・マリーゴールド定植 	<ul style="list-style-type: none"> ・殺菌剤を 土壌かん注 	<ul style="list-style-type: none"> ・本支柱立て ・1番花のトマト トーン処理

手かん水の実施（定植から1週間）

2. 定植当日の管理

(1) 定植

定植時期：4月下旬（苗受け取り後できるだけ速やかに）

※ 定植が遅れると培土に根が回り、老化苗となるため収量減に直結します！

※ 苗を受け取り後、できるだけ速やかに殺虫剤をかん注しましょう（定植までに薬剤を植物体内に十分に行き渡らせるため）【6. 病害虫防除 参照】

耕種概要：株間80～90cm、畝間2m

☆定植時のポイント

- ① 定植前、植穴に十分かん水しましょう（苗の活着を促進するため）。
- ② 蕾の向きを畝と垂直にして定植しましょう（枝の向きを揃え、誘引をしやすくする）。
- ③ 隣の畝と植穴の位置を揃えましょう（隣の畝の本支柱と結束するため）。
- ④ 浅植え・深植えは避け、根鉢上部に薄く土が被る程度で植えましょう（図1）
（浅植え：根が傷み、生育が弱るため、深植え：土壌病害の発生を防ぐため）。

※接ぎ木部分が土に埋もれないよう注意

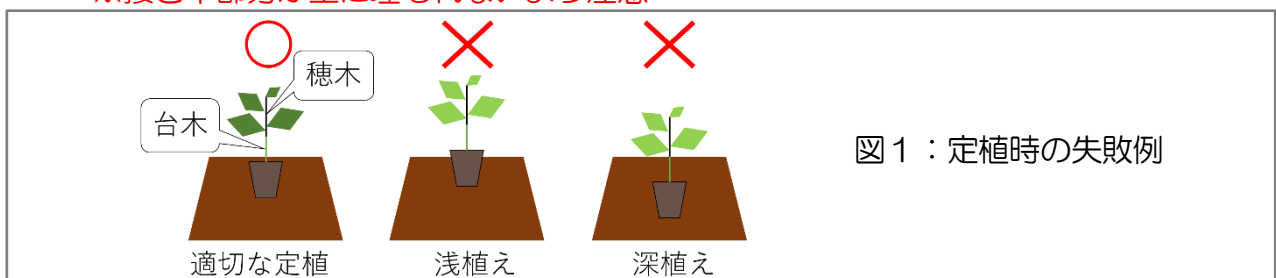


図1：定植時の失敗例

(2) 仮支柱の設置

目的：風で苗が揺さぶられ、活着不良となることを防ぐ。

仮支柱の長さ：約50cm（地上部30cm程度）

設置方法：畝に垂直に立て、苗に沿うように設置する。

誘引ヒモは、苗の中位よりやや高い位置で、
茎を締め付けない程度に結ぶ（図2）。



図2. 仮支柱の設置方法

3. 定植直後の管理

(1) 定植後のかん水 **重要**

活着するまで、1週間程度は手かん水を行きましょう。

かん水に加え、液肥や発根剤をかん注するとより活着が促進され、初期生育が良好となります。土壌が乾燥した場合、活着とともに初期生育も遅れ、収量低下に繋がるため注意しましょう。

※手かん水が行えない場合、マルチ被覆時にかん水チューブを設置しておきましょう。

(2) 株整理

台木から出てくるわき芽は順次取り除きましょう。

(3) 1番花の着果処理

1番花は確実に着果させましょう。

着果しなかった場合、株が栄養成長に傾き、2番花以降の着果が不安定になります。

処理方法：トマトーン（開花当日、50倍、1回/1花房）を処理する（図3）。

☆作業のポイント

① 花（花房）以外にかからないようにしましょう

（伸長中の茎や葉等にかかると萎縮する可能性が高いため）。

② 重複処理防止のため、色粉（いろこ）を混ぜて散布しましょう。

※2番花以降も、花柱が短い（花質が悪い）場合や天候不順の場合は、トマトーンを処理しましょう。



図3. ホルモン剤の散布方法
（※図はトマトの場合）
野菜栽培の基礎より抜粋

4. 本支柱立て

時期：定植後順次～6月中旬完了

本数：1株あたり4本設置

設置方法：

① 苗の植穴外側に挿し込む。支柱は、畝方向に対して垂直に設置し、地際で支柱をクロスさせる（図4）。

② 隣の苗の本支柱と、畝間上で結束する。
結束部をマイカー線につなげ、固定する。

※マイカー線が緩んでいると本支柱が倒れる原因となるため、ピンと張って結束する（図5）。



図4. 本支柱の設置方法



管理のポイント

生育が悪い場合は液肥をかん注しましょう！

例) OKF-1 (500倍希釈、1ℓ/株)

判断時期：定植後 10～14 日頃

判断方法：芯葉～上位3葉の葉色



濃い紫色 ⇒ 活着・生育良 ◎



緑～黄緑色 ⇒ 活着・生育不良 △

5. 土着天敵を利用した害虫防除

○ マリーゴールド：なす定植と同時に定植

※市販で購入する場合はボナンザイエロー、またはボナンザオレンジを選ぶ。

○ ソルゴー ：5月中旬までに条播き

※ソルゴーは2~3mまで伸びると倒伏しやすいため、マイカー線等で固定する。

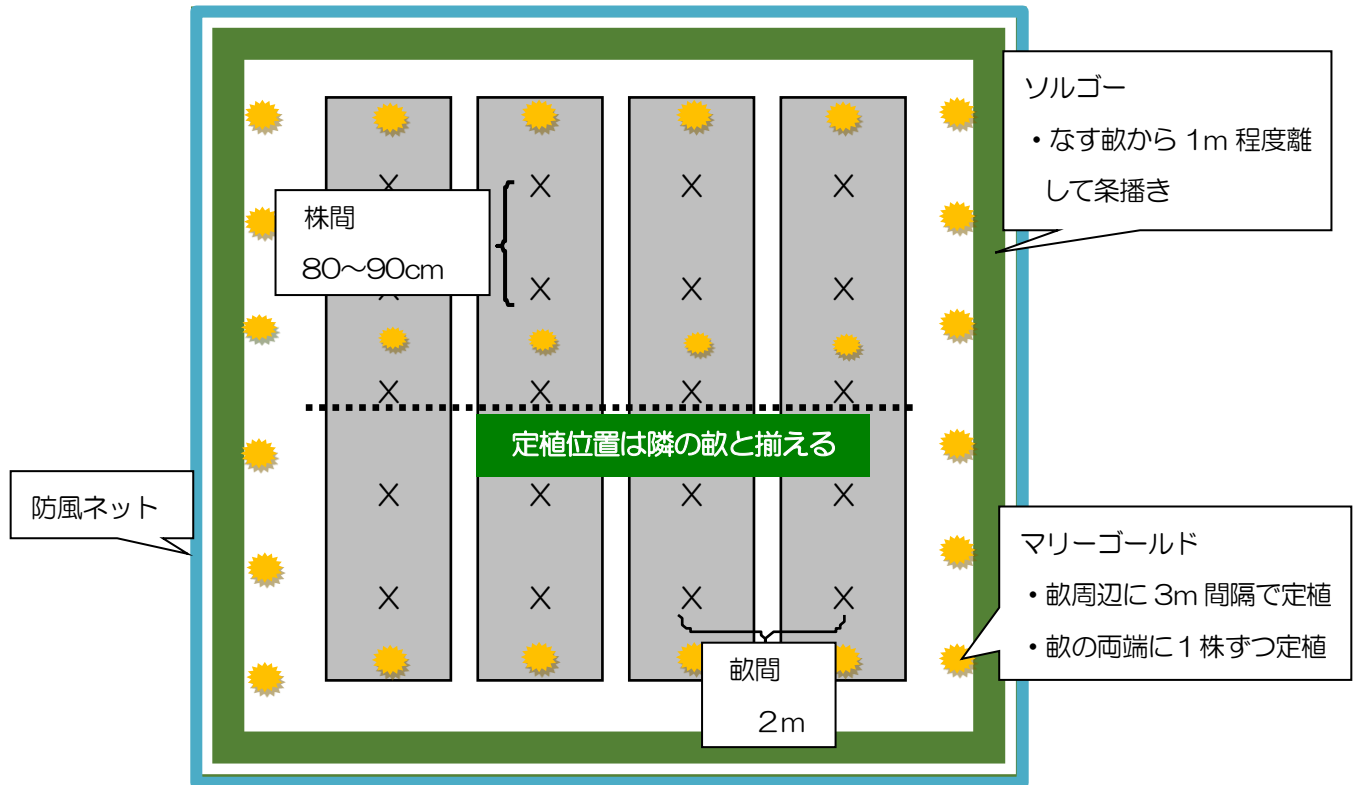


図6. 温存植物設置事例 (X…ナス定植位置)

6. 病害虫防除 ※登録情報は2026年3月25日時点の情報で確認

生育初期の病害虫被害は、収穫期以降の生育や収量に大きく影響します。

かん注剤を使用し、以下の害虫防除を実施しましょう。また、重要土壌病害である半身萎凋病の防除も実施しましょう。

防除使用時期目安：苗受け取り後すぐ！

＜ネキリムシ類対策＞

「プレバソフロアブル5」

(100倍、25 ml/株、かん注、育苗期後半～定植当日、使用回数1回まで)

＜アブラムシ類対策＞

「モベントフロアブル」

(500倍、25 ml/株、かん注、育苗期後半～定植当日、使用回数1回まで)

※かん注使用后、散布での使用回数が2回までとなるので注意)

※「プレバソフロアブル5」と「モベントフロアブル」は上記使用方法で混用可

※培土が乾きすぎていると薬害が発生する可能性があるため注意

防除使用時期目安：定植1～3日後

＜半身萎凋病対策＞

「ベンレート水和剤」

（500倍、200～300 ml/株、土壌かん注、

定植後～収穫14日前まで、使用回数3回以内

※散布使用と合計での回数になるため注意）

